

3. 19 国会議員会館前行動に 3,000 名が結集！



3月19日夕方、総がかり行動実行委員会と「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」の呼びかけに応じて3,000名（主催者発表）の労働者と市民が国会議員会館前に結集した。JR総連とJR貨物労組は参加者と共に「安倍9条改憲NO！」「沖縄の民意に従え」と書かれたプラカードをかかげ、「改憲発議必ず止めよう！」「沖縄の民意を無視するな！」と声をあげた。

この日は、政府要請に訪れた「オール沖縄会議」の代表団が参加し、辺野古新基地建設の中止を強く訴えた。また、情報公開請求で埋め立てする大浦湾の軟弱地盤の存在を暴いた沖縄平和市民連絡会の北上田毅氏は「少々の地盤改良ではできず、辺野古新基地建設は頓挫すると確信している」と語った。

19日行動は、安保法（安全保障関連法）が強行採決された2015年9月19日以降、国会開催中の毎月19日に行われ、JR総連は在京単組と共に参加し、安保法の廃止に向けたたかかってきた。

安保法の問題については、昨年5月に亡くなられた毎日新聞社特別編集委員の岸井成格氏が2017年10月8日放映のTBS「サンデーモーニング」で語られたことによって、その狙いが明確にされている。

2017年10月8日放映のTBS「サンデーモーニング」で故岸井成格氏が語ったこと

安保法制が動き出したとき、これはアメリカの圧力がすごいなと思ったんですよ。

それで、これはこの人だけには聞かないといけないと思って、日米安保のドンと言われたリチャード・アーミテージにインタビューをやったわけなんです。

彼はね、安保法制がいよいよできるというんで、ものすごい喜んで、こういう言い方をしたんですよ。

「今まで日米の軍事協力をやろうとしても、憲法9条がいつもバリケードのように立ちはだかっていて、なかなか進まなかった」

「だけど、今度の安保法制は世界中どこでも、自衛隊がアメリカのために命をかける、血を流すと約束した法律なんだ」

「これがすごい大きいことなんだ」

ということを彼がね、とうとうとしてぶつわけなんです。それが、安保法制だったのかと、納得したんですけどね。

